

新たな可能性を生み出す、AIのチカラ②

今回も前回に続きAI（人工知能）に関する旬な話題をお届けします。今や数字の羅列だけでなく、画像、音声、文章、様々な情報を分析可能になりつつあるAI。前号の病院や学校の事例からも分かるように膨大な情報に基づき短時間で答えを導き出してくれるAIは人間の生活や仕事における多岐に渡る分野で私たちを手助けしてくれる存在になっています。

記者×AI



AIが新聞記事を書いてくれる時代がいよいよ到来です。企業の公開情報やニュース等をスムーズな文章で要約し配信してしまうAIが活躍の場を広げています。数字の多い金融の決算発表資料等を記事にするだけでなく、スポーツの試合結果を自動的に記事にしてしまうタイプのAI開発も進んでいるという報道も出ているので驚きです。

記事出所：日経新聞、
写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

コンビニ×AI



アマゾンがAIを駆使した最先端のコンビニを始めます。50坪程度の敷地に品物を並べ、お客さんは入店時に読み取り機付きのゲートにスマホをかざし、本人確認をします。AIを活用することで来店客が何を購入したかを認識し自動会計をしてくれるため、私たちは品物を選んで持って帰るだけで専用口座から支払いも自動的に済まされるという画期的な仕組みです。このコンビニは消費者にとって便利というだけに留まらず、カメラやセンサーを駆使することでどの世代の人がどのような時間帯に何をかうのかといった情報も蓄積できる可能性も秘めており、広告ビジネスの在り方にも変革をもたらすかもしれません。

記事出所：日経新聞
写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。
<審査番号:88655-TMPL-03/2017-502418.> © 2017 Goldman Sachs. All rights reserved.

新たな可能性を生み出す、AIのチカラ②

読得
ヨミトク

新薬開発×AI



記事出所：日経新聞

写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

10年近い年月、そして巨額の費用をかけて研究・開発しても2～3万分の1の成功率である新薬開発。この分野においても革命の兆しがでています。AIを導入し、大量の学術論文、臨床データ等を学習させることで、新薬候補探しの時間を短縮化できる可能性があるそうです。加えてAIの導入により現在では高額となってしまう薬と同じ効果を見込める安価な物質を見つけ、薬価の大幅な低減につなげることができるとも言われています。これから高齢化社会を迎える国々にとって朗報ですね。

AIがもたらす無限大の可能性



AIが進化するにつれこれまで治らなかった病気が治ったり、生活が便利になったりと様々な展開が期待できます。AIがもたらす「次世代の産業革命」に今後も注目です。

知っ得、プチAI情報

2016年、「アルファベット（元Google）が開発したAI（アルファ碁）が人間の歴代最強の棋士に勝利した」というニュースが話題になりました。囲碁の世界では打ち手のパターンが10の360乗通り以上存在し、そのため全パターンを暗記させるといったやり方は難しいそうです。

アルファ碁は人間のプロ棋士が行うような判断を自らしたと言われています。実はこのAIを開発した企業のCEOはデミス・ハサビスという人物だそうですが、彼は当初、ディーブマインド社を設立し、同社は2014年にGoogleに4億ドルで買収されることになりました。研究・開発に集中するため、そのための資金面、環境面でも圧倒的な存在感を持つGoogleの傘下となったと推測されますが、これからの時代IT企業のみならず多くの産業で「AI人材」の獲得合戦はますます盛り上がりそうです。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（I）複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは（II）再配布することを禁じます。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。<審査番号:88655-TMPL-03/2017-502418.> © 2017 Goldman Sachs. All rights reserved.